

トリアージタグを収納するウォールポケットの開発について

長崎市消防局（長崎県） 並川 晃士

1 はじめに

多種災害時において多数の傷病者が発生した場合、現場指揮本部には様々な情報が集約される。

現場指揮本部は、集約された情報を基に現場の指揮調整、指揮命令、連絡調整、及び安全管理等の任務に当たるが、特に救急隊からの情報は情報量が多く錯綜することから、集約された情報を把握、整理し、迅速かつ円滑な応援要請、医療機関との調整などの活動につなげる必要がある。

このことから、限られた人員で少しでも効率よく集約された情報を処理する方法はないかと考え開発した。

トリアージタグについては、統一した様式・形式があり標準的な仕様として3枚綴りであるが、今回は4枚綴りのトリアージタグを使用し活動した場合に特に有用と考える。

2 トリアージタグを収納するウォールポケットの構成部品と使用方法

（図1～4）

(1) シート 図1

トリアージ区分ごとに色分けしたシート（赤・黄・緑）でマジックテープが貼り付く布で作成したシート。トリアージ区分ごとに2枚ずつ計6枚を繋ぎ合わせた状態で使用する。

(2) ポケット 図2

トリアージタグの1枚目、2枚目が収納でき、裏表共に透明でポケットの左右と下部にマジックテープが貼り付けてあり、シート（図1）に貼り付けることができる。

(3) 現場救護所に搬送された傷病者のトリアージタグ1枚目を剥がし、ポケット（図2）に入れてトリアージ区分ごとのシート（図1）に貼り付け保管し管理する。図3

- (4) 現場救護所でトリアージ区分の変更があった場合は、トリアージ区分に適合したシートにポケットごとタグを移動させる。図 4
- (5) 傷病者が現場救護所から搬出される際にトリアージタグ 2 枚目を剥がして 1 枚目と同じポケットで保管する。

3 開発後の効果

- (1) 傷病者一覧表等（紙ベース）とトリアージタグを収納するウォールポケットを併せて活用することにより現場救護所の傷病者数などの状況を視覚化し、現状の把握が瞬時に行える。
- (2) トリアージタグがシートにポケットで貼り付けてあるためトリアージ区分の変更があった場合や現場救護所搬出時など特定のトリアージタグを検索する場合も短時間に行える。

4 おわりに

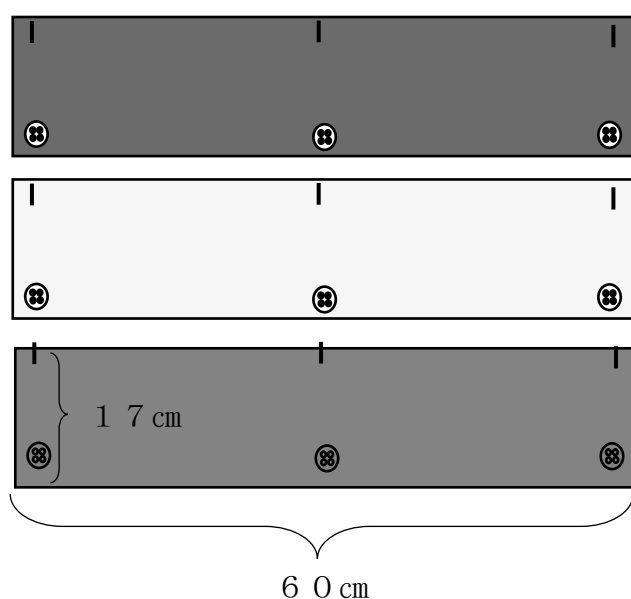
多種災害時に多数の傷病者が発生した場合、救助・救急活動が困難になること以上に現場の指揮や安全管理等の任務に当たる指揮隊に負担がかかることは容易に想像ができる。少しでも指揮隊の負担を減らし、作業の効率化が図れないかと考え、今回の開発に至った。

開発においても安価で比較的容易に作成できる仕様としているため、自作も可能と考える。（図 5 試作品写真、図 6 試作品使用時写真）

今回は傷病者の迅速な把握を主眼に作成したが、使用する人や場所が変われば、様々な活用方法（マトリックス方式での傷病者の時系列管理など）が期待できる。

今回の開発が多くの指揮隊の一助となることを願う。

トリアージタグを収納するウォールポケット（図1～6）
（図1）シート



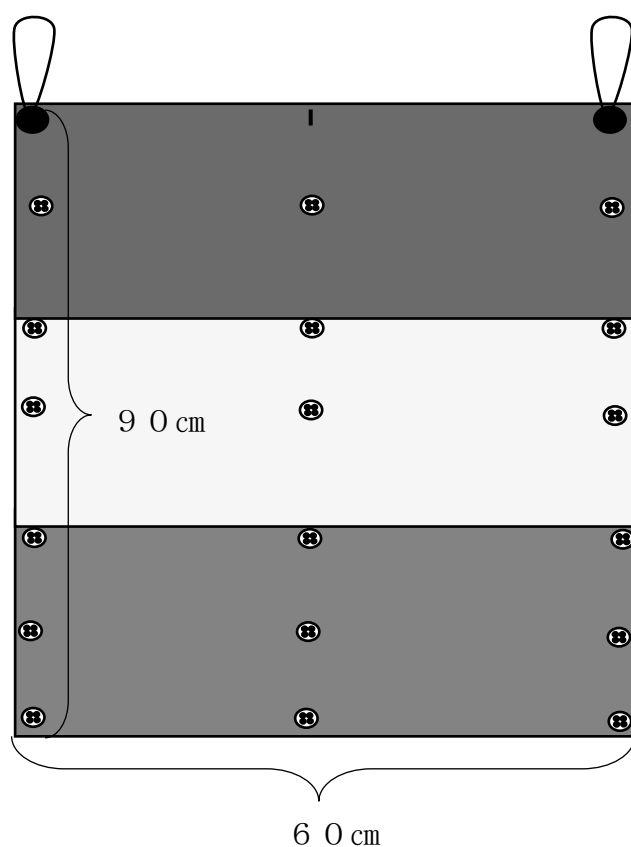
○シートはマジックテープが貼り付く布とした。

○ボタンで繋ぎ合わせて使用する。

○各シート2枚、計6枚を繋げた状態で収納する。

○トリアージ区分Ⅰ（黒）はシートで管理しない。

○着脱が容易なため状況に合わせてシートの変更は可能。（例1・2）



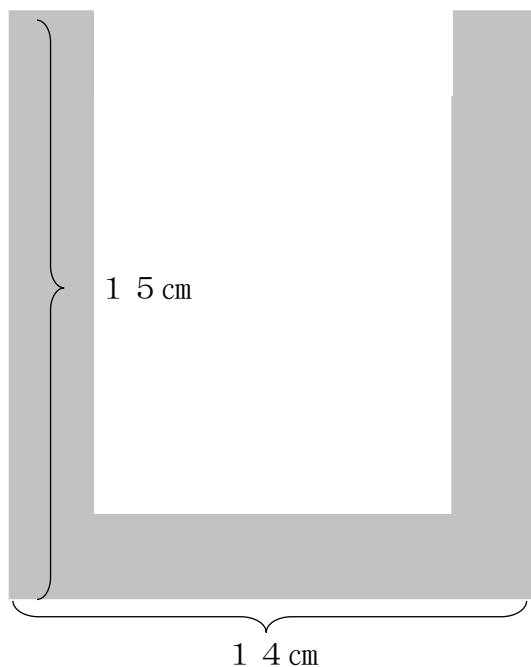
（例1）

Ⅰ（赤）2→1枚、Ⅱ（黄）2→1枚、Ⅲ（緑）2→4枚
シート6枚で全体の大きさを変更することなく必要なシートを増やすことも可能。

（例2）

Ⅰ（赤）2→1枚、Ⅱ（黄）2→1枚、Ⅲ（緑）2→1枚
シートの枚数を減らすことで半分の大きさにすることも可能。

(図 2) ポケット



ポケットサイズは
1.5 cm × 1.4 cm

○記載内容が見えるよう
に透明な素材でポケット
を作成する。

○ポケットの裏表両面の
左右と下部約 1 cm の範囲
(灰色) でマジックテープ
を貼り付ける。

○マジックテープは
裏側にフック面(硬い面)
表面にループ面(軟らか
い)を貼る。

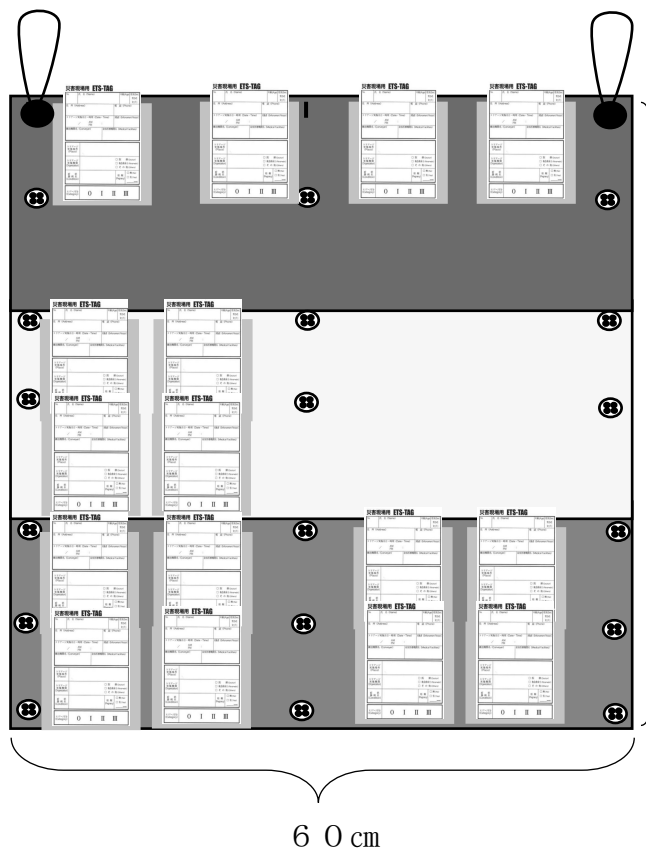
○ポケットからトリアー
ジタグが約 2 cm 突出する
ように作成する。

災害現場用 ETS-TAG

氏名 (Name)	年齢 (Age) 性別 (Sex)
住所 (Address)	電話番号 (Phone No.)
トリアージ実施日時・時刻 (Date・Time)	実施者 (Enforcement Person)
搬送機関名 (Conveyor)	救急医療機関名 (Medical Facilities)
トリアージ実施場所 (Place)	
トリアージ実施機関 (Organization)	☐ 医師 (Doctor) ☐ 救急隊員 (Paramedic) ☐ その他 (Others)
応急状態 (Condition)	☐ 無呼吸 (No Breathing) ☐ 有呼吸 (Breathing)
トリアージ区分 (Category)	0 I II III

2 cm

(図3) ポケットとシートでトリアージタグを管理



○左の図の仕様でシートを作成した場合(60 cm × 90 cm)
ポケット同士を重ねることなく最大24枚のポケットを貼り付けることが可能。

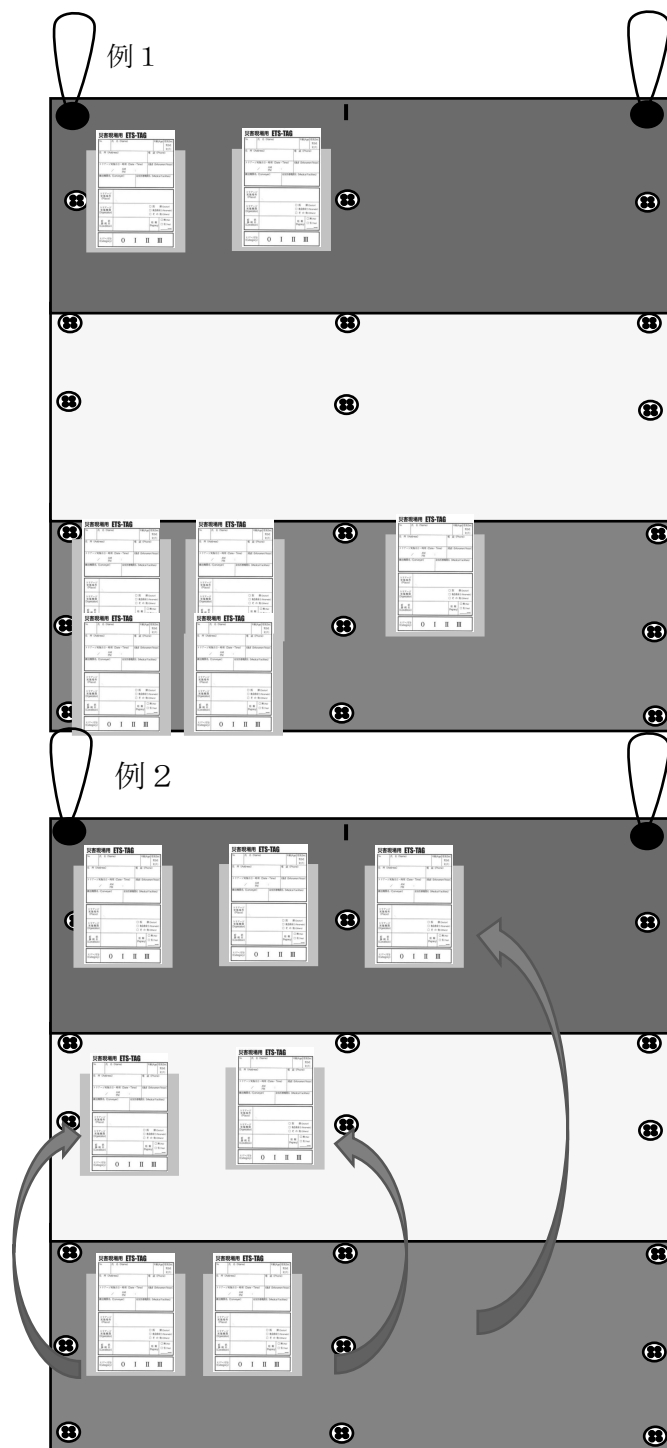
90 cm

60 cm

災害現場用 ETS-TAG			
No.	氏 名 (Name)	年齢(Age)	性別(Sex) 男(M) 女(F)
住 所 (Address)		電 話 (Phone)	
災害現場用 ETS-TAG			
No.	氏 名 (Name)	年齢(Age)	性別(Sex) 男(M) 女(F)
住 所 (Address)		電 話 (Phone)	
トリアージ実施月日・時刻 (Date・Time)		実施者 (Enforcement Person)	
AM PM			
搬送機関名 (Conveyor)		収容医療機関名 (Medical facilities)	
トリアージ実施場所 (Place)			
トリアージ実施機関 (Organization)		☐ 医 師 (Doctor) ☐ 救急隊員 (Rescuer) ☐ その他 (Other)	
症 状 備考 (Condition)		妊 娠 (Pregnancy) ☐ 有 (Yes) ☐ 無 (No)	
トリアージ区分 (Category)		O I II III	

○ポケットを上下にずらすことでポケット同士を重ねることも可能。

(図4) ポケットごとタグを移動させる



○現場救護所に搬送された傷病者の情報を確認後、トリアージタグの区分に適合したシートにトリアージタグを入れたポケットを貼り付け管理する。

例1. 赤2名

緑5名 計7名

○例1の傷病者のうち3名にトリアージ区分の変更あった。

緑から赤に1名

緑から黄に2名の変更

例2. 赤3名

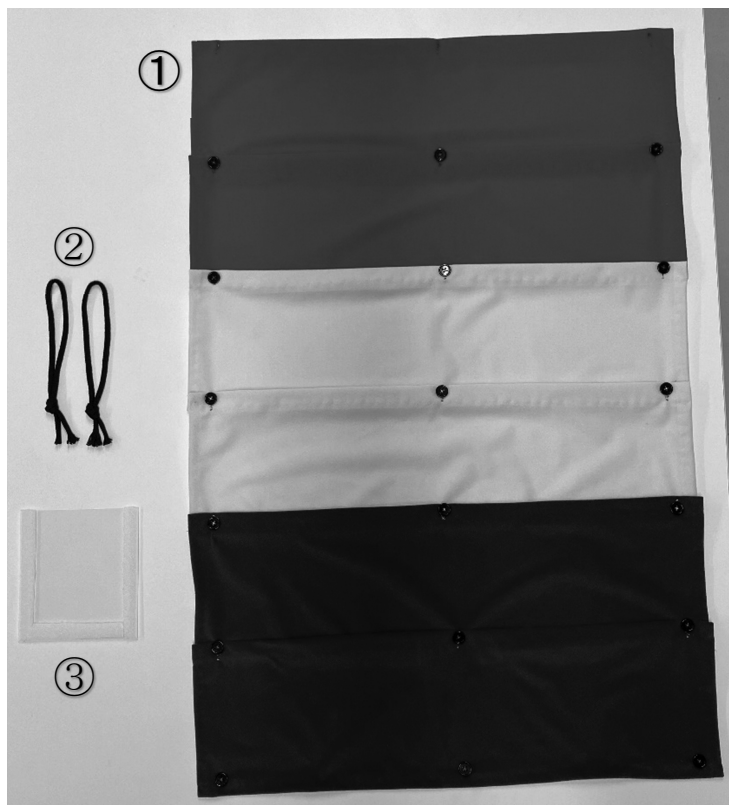
黄2名

緑2名 計7名

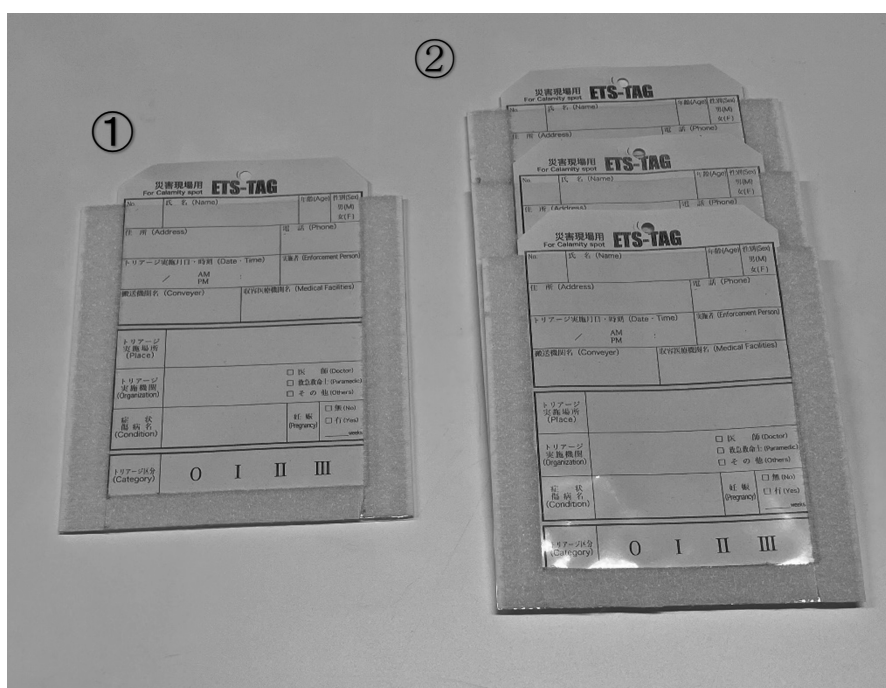
○変更があった場合も例1から例2のように該当するタグの入ったポケットを移動させ管理するため容易で迅速に行える。

(図 5 試作品写真)

(図 5－1) ①シート、②吊り下げ紐、③ポケット

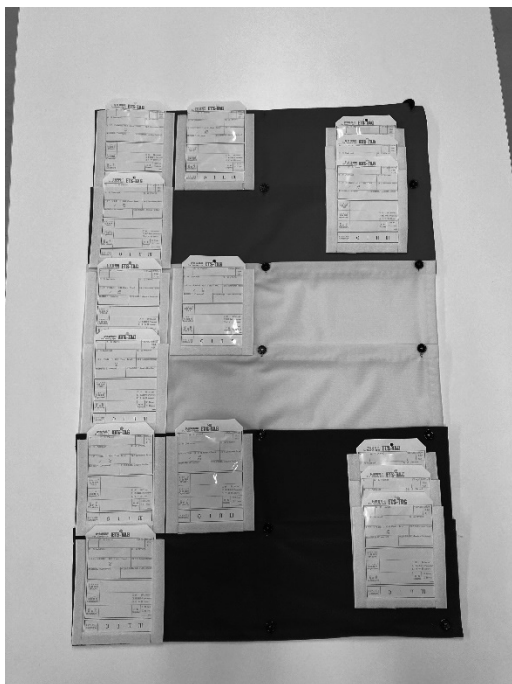


(図 5－2) ①単体のポケット、②ポケット同士を貼り重ねたポケット

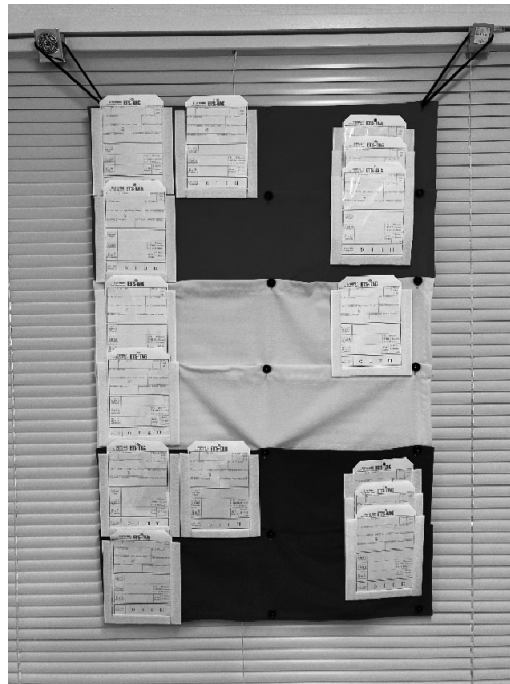


(図 6 試作品使用時写真)

(図 6 - 1) 机上で使用



吊り下げ使用



(図 6 - 2) 消防車両に吊り下げ使用

